

師走を迎えて

分所長 高木敏彦

令和6年も最後の12月を迎えました。今年を振り返りますと、分所長になり3期目を迎えました。6年前に藤浦さんから分所長を引継ぎ、直ぐに心筋梗塞を発症してご迷惑をおかけし、翌年からはコロナ騒動で月次祭の開催も制限しながら実施をしてきたことが思い起こされます。

また何人かの葬祭も経験してきましたが、その際に後継者不足を痛感する日々でした。信仰は強制されるものではないですが、ご自身が信仰してきて良かった、有難いと考えているのであればその貴重な体験を一番身内の家族と共有し伝えていかなければならないのではないのでしょうか。残された任期の間ですが、後継者対策を最重要課題として努めたいと思います。

年末に向かい寒さが一段と厳しくなっていますが、お体に充分気を配り、人型ご宣教にお励みください。

道の光

(94ページ)

出口 王仁三郎

常に勇み喜びつるわしき言葉をもつて、神につかえ奉るべし。

神をそしりつつ神につかうるものは、神の忌みたもう行為(おこない)にして、亡びのもといなり。

神よりほかに世をさばく権利なければ、人はただ神の言葉によりて語るべし。

わが身を殺すも舌なり。国を亡ぼすも家を破るも、また小さき一枚の舌なり。国と国との戦いもまたこの舌一枚の使い方による。神の善(よ)き教えを宣べ伝ふるよろしき行為(わざ)も、神の教えを無視する悪しき言葉も、同じ一枚の舌の使い方によるのである。全世界を清むるも舌の働きのなり。全世界をけがすもまた舌なり。舌は善く用(もち)うべし。みだりに用うべからず。三寸の舌をもつてわが身を殺し、人をそこない、世界を毒す。実に恐るべきはこの小さき舌なり。

いったん口に出したることはかたく行え。しかも善なることはぜひに行え。万一悪なることなれば、速やかに悔い改めて、あらため言え。

神または人に向いて、われはかくなさんといながら、その言葉を果さざるものは神を無視し、かつ軽んじ、人をあざむき、またおのが精神をあざむく罪人なり。

いかなる罪深き人といえども、あくまで愛し、捨てたまわざる深き厚き大神の御心を、喜びたたえ奉りて、神に親しむべし。

主な行事予定

12月8日(日) 午後1時半より

碧南分所月次祭 担当第1班

12月15日(日) 午前10時より

三河本苑月次祭・全体会議

12月22日(日)

誠心会万祥殿献勞

令和7年

1月1日(水) 午前9時より

碧南分所元旦祭

三河本苑新年祭 午前11時より

1月12日(日) 午後1時半より

碧南分所月次祭 担当第2班

1月19日(日) 午前10時より

三河本苑月次祭・成人式 担当第2フロック

12月の誕生者

おめでとつございます!

蒲生 昌直 2日 奥谷 孝 坂部 真司 3

日 澤田 俊絵 5日 坂部 文彦 9日 市

古 正弘 蒲生 眞矢 10日 坂野 愛 1

3日 鈴木 明美 14日 坂野 花 23日

石川 雅祥 25日